

美方高原7月上旬の蝶

広畑 政己*

美方高原は、鉢伏山の北々東に位置する標高約500mの高原で、矢田川の上流の村、秋田から約2km程山道を南に入ったところにある。冬期には美方高原スキー場ともなるようで、地図にもそのような表示があるが、一般的に考える高原のイメージとは程遠く、高原というより山麓といった方が適当かもしれない。しかし、ところどころに高原特有の草原や湿地帯をみられ、草原の周辺には照葉樹林帯も残されている。

筆者は、1978年7月9日に、姫路昆虫同好会採集会のメンバーの一員として当地を訪れ、県下の日本海側では記録の少ないキマダラルリツバメを確認したので、他の採集及び目撃した種と併せて報告する。

本稿を草するに際し、発表をお許しいただいた、結城八郎氏、花岡正氏、姫路昆虫同好会の方々、そして県下日本海側に於けるキマダラルリツバメの記録について御教示いただいた木下賢司氏にお礼申し上げます。

キマダラルリツバメは県下でも姫路市を中心に瀬戸内側の各地で産地が多く、その分布は西の日名倉山（山本広一、1971）から東の三木市（川倉滋・高橋久夫、1978）に至る各地に点在している。しかし、日本海側になるとその産地は少なく、木下氏からの筆者私信によれば、金山峠、杉ヶ沢にて生息が確認されているにすぎず、その他からの記録がない。

この度の調査で、結城八郎氏によってヒメジョオンに吸蜜の1♀と、花岡正氏によってクリの樹冠より1♂が採集された。♂の個体は播州地域で採集されるものと、大きさやさほど大差がないようであるが、♀の個体は大きく、前翅長17%もある。播州地域の個体の中でも大きさには多少の変異は見られるが、この個体のように大きなものはこれまで見たことがない。採集されたのはこの2頭だけで、発生源については確認がとれていない。尚、結城八郎氏採集の1♀は筆者が保管している。

この他に筆者が採集、目撃したものについて次に例記する。

セセリチョウ科

コキマダラセセリ

ヒメキマダラセセリ

コキヤバネセセリ（目撃）

* 現住所：(671-22) 姫路市

シロキョウ科

スジグロシロキョウ

スジボリヤマキキョウ

タテハキョウ科

オオムラサキ (目撃)

イチモンジキョウ

ウラギンスジキョウモン

ウラギンキョウモン

オオウラギンスジキョウモン

ルリタテハ (目撃)

ツカハチキョウ (目撃)

ジャノメキョウ科

ヤマキマダラヒカゲ

ヒメウラナミジャノメ

シジミキョウ科

ヘニシジミ (目撃)

ムラサキシジミ (目撃)

リバメシジミ (目撃)

参考文献

- 小倉 滋・高橋 久夫, 1978, 三木市内の蝶について, ぎばりはむし, 6(1-2): 8-16.
 山本 広一, 1971, 兵庫県の蝶類, 目撃むし, 3: 7.